

## 平成23年10月第12回教育委員会定例会

【日 時】平成23年10月27日(木)午後1時30分～午後3時30分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第2・3会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・斎尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長、西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

### 【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、磯江委員を指名

2 行政報告

#### 教育長

- ・災害時における児童生徒の家庭への安全な引き渡し方法について
- ・防災計画の見直しに伴う学校教職員の対応について
- ・美術展審査員の選任について
- ・10月17日中部子どもセンターの平成24年度以降在り方について
- ・10月20日鳥取県教育委員会学事訪問について
- ・10月24日北栄町議会臨時会(教育委員の選任)について
- ・10月25日鳥取県・市町村教育委員会連絡協議会について
- (質問)中部子どもセンターは継続し存続するのか。
- (回答)存続はさせるが、現在の倉吉産業高校同窓会会館は返還する必要があり、場所の選定も必要となっている。まだ決まっていない。
- (質問)平成24年度には明け渡すのか。
- (回答)中学校の工事があるため、年度中途での返還となる。
- (質問)県の平成24年度以降の負担金は0円となるのか。
- (回答)県の負担金はなくなる。
- (質問)現在の県負担金部分は、市町が負担するのか。
- (回答)県負担の分を市町が負担することとなる。負担割合は、全体の児童生徒数で計算する予定。
- (意見)場所の選定が重要となってくる。
- (質問)これは鳥取県全体の話か。
- (回答)現在、中部地区以外は、八頭町、大山町、南部町、米子市が設置している。
- (質問)鳥取県の負担はなくなるということか。
- (回答)県との話し合いの中ではなくなくなると考えられる。
- (質問)鳥取県市町村教育委員会連絡協議会のメンバーは。

- (回答) 教育長と課長がメンバー。
- (質問) 町長部局は参加していないのか。必要ではないか。
- (回答) 町長部局の参加はない。県教委の予算要求・査定の情報提供が主である。県予算が1月中旬でないといけないため、町村は困ってしまう。
- (意見) 何でも市町村でという風潮となっている。町財政の負担もあり、財政担当課に理解してもらう必要がある。
- (回答) 他の市町村からは、財政規模によって教育の格差が生じるのではないかと懸念している。
- (報告) 臨時会においては、議会の議長・副議長選挙や常任委員会の構成員の変更があった。

#### 教育総務課長

- ・学校行事について
- ・教育委員の視察研修について
- ・同日公開参観日の実施について
- ・就学時健康診断の実施について
- ・工事等の発注について

#### 生涯学習課長

- ・北条歴史民俗資料館企画展(第4弾)について
- ・第2回北栄町文化芸術合同発表会について
- ・第7回北栄町美術展第1回実行委員会について
- ・第65回中部地区駅伝競走大会 北栄町Aチーム優勝について
- ・第2回あいさつ運動について
- ・第1回町民運動会について
- ・歴史文化探訪ウォークについて
- ・北条歴史民俗資料館企画展(第5弾)について
- ・文化講演会 草野仁「いつもチャレンジ精神で」について
- ・第1回町民コーラスフェスティバルについて

- (質問) 町民運動会はどうだったか。振り返りはあるのか。
- (回答) 10月27日にB&G海洋センターで会議を行う。場所の広さの面、時間の面から全自治会で取り組むのはどうかとの感想があった。規模が多すぎるなど課題もあった。
- (意見) 選手ばかりで応援団が少なかったのではないか。今後も続けて行く場合には応援団を誘発するような取り組みが課題となる。また、競技とするのか、親睦とするのか検討する必要がある。
- (意見) 運動会といている以上、人を集めることが重要となる。
- (回答) 広さの面ではテントを下げることで解消できるが、競技の待ち時間の

問題がある、また、競技の選定も検討が必要となる。

(質問) 毎年実施するのか。

(回答) 1年でやめることはない。

(質問) けがはあったのか。

(回答) 1人こけて顔をけがした。保険で対応した。

(質問) 運動会の商品はどのようなものであったのか。

(回答) スポンサー企業からの商品や、ビールなどであった。

(意見) 継続して実施する場合には反省が必要である。

(意見) 文化講演会とコーラスフェスティバルが連続してあったが、多くの人に集まっていた。

(意見) 整理券が500枚で参加者が338名であったが、席が空いてしまう。今後の課題ではないか。

(回答) 講師の方の人気があったため整理券としたが、確かにすぐに整理券がなくなってしまうほど盛況であった。しかし、人数はすべてが埋まったわけではなかった。十分検証し有効なやり方を検討したい。

### 3 議事

議案第68号 教育委員会事務局職員の人事(出向)について

(質問) 産業振興課の欠員補充か。または、期限付きの人事か。

(回答) 期限はなし。教育総務課は大規模事業もなくなり、町全体での配置は難しくやむを得ない。

(意見) 教育委員会事務局内でよく連携すること。

(回答) 生涯学習課の臨時職員2人を活用する。

(意見) 良く連携して欲しい。隣の課が分らないことが多い。皆が教育長ということで仕事のあたって欲しい。

原案のとおり承認。

議案第69号 北栄町教育委員会委員長の選挙について

・規則に規定により選挙を行う旨宣言し、立候補者を諮ったが立候補者はなし。どのような方法で選挙したらよいか委員に諮った。

・河本委員から吉田委員を推薦する旨の発言があった。

・他の齋尾委員・磯江委員も吉田委員長の推薦について賛同する旨の発言があった。

・吉田委員も推薦について了解した。

(結論) 満場一致により、吉田委員を委員長として決定した。

議案第70号 北栄町教育委員会委員長職務代理者の指定について

(結論) 規則の規定により、吉田委員長が河本委員を指名し、本人も了解した。

議案第71号 準要保護児童生徒の認定について

原案のとおり承認。

議案第72号 準要保護児童生徒の認定について

原案のとおり承認。

議案第73号 区域外就学について

原案のとおり承認。

議案第74号 校区外就学について

(意見) 単独での部活動の存続が難しくなってきた。

(意見) 部活動のシステムを変える必要がある。子どもの数が少なくなっている。統合も考えるべき。

(質問) 休日の部活動について教員は時間外があるのか。

(回答) 日曜日はある。

(質問) 時間は制限があるのか。時給はいくらか。

(回答) 3時間程度はつく。単価は後日報告する。

原案のとおり承認。

#### 4 協議事項

・中学校の「武道」の取り扱いについて

(質問) 武道が必修化となり必ず入るが内容はどうか。

(回答) 体育の中に武道が必ず入る。1学年10時間、3学年8時間。

(質問) 武道とは何があるのか。

(回答) 柔道、剣道、相撲、なぎなた。どれを行うかは校長が教育課程で決めればよい。

(質問) 生徒に聞いたのか。

(回答) 必要になれば聞くことも必要となる。

(意見) 校長が決めることであれば校長が決めるべきである。参考意見があれば意見を言う。予算措置とかの理由であれば教育委員会で話し合うものではない。

(意見) 新たに導入がされた。種目に触れるという面ではいいこと。教育の単位でやればよい。例えば年単位とか。

(意見) 安全面から3年間を通してやる。入る時に選択制としてやる方がいいのではないか。けがなく無事にできる。

(意見) 選択制とした場合クリアしなければならない問題がある。道具が準備できるか、人的配置が出来るかなど。

(意見) 学年単位では指導はできないか。

(意見) どんなことを学ばせるのかが問題。触れ合うことも大切ではないか。

(意見) 身につけるためには3年間学ぶことが必要ではないか。

(意見) この意見をもって協議検討してもらう。

## 5 報告事項

- ・教育委員会委員の任命（再任）同意について
- ・平成24年度以降の全国学力・学習状況調査について
  - （質問）文部科学省の分析はあるのか。
  - （回答）冊子がある。
  - （質問）調査の冊子を見ることはあるのか。
  - （回答）施策には役立っていない。
  - （意見）冊子に意見はあるのか。この結果、こうなるという方向性がないと意味がない。
  - （意見）どういう手立てをしたということをデータ化する。何をしたという経過を残すべきではないか。なくなるものではない。年を重ねれば傾向が分ってくるのではないか。
  - （意見）傾向は残すべき。データ化しておくことで対応方法として活用できる。
- ・不登校児童生徒の状況について
  - （意見）年齢にあったきめ細かな支援が必要である。
  - （意見）教員・保育士の教育が必要。
  - （回答）保育所の研修機会が少ないので指導主事を配置している。メリットとして研修していくべきと考える。幼保で研修の機会を設ける必要がある。

## 6 その他

- ・次回教育委員会 定例会 11月29日（火）午後1時30分予定